

1. 日本病理学会誌第 113 巻 1 号 (学会抄録号) について

1) 標記学会抄録集を会員向けに公開いたしました。
病理情報ネットワークセンター (会員番号とパスワード
が必要です)

https://e-learning.pathology.or.jp/pluginfile.php/35542/mod_resource/content/13/sokai_program_240220.pdf
会員システム内よりダウンロード (会員番号とパスワード
が必要です)

<https://member.pathology.or.jp/product/Cmn/WapCmn01P01.aspx>

2) 冊子体 (印刷物) 抄録集は有料となります。

会員 1 冊 ¥3,000- 非会員 同 ¥7,000- ※税込

3) 冊子体の郵送送付を希望の方は下記に従いお申し込
みください。

①申し込み・問い合わせ先

日本病理学会事務局 E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

②「日本病理学会誌第 113 巻 1 号購入希望」と件名に明
記の上、以下の情報を e-mail にてお送り下さい。

1. 会員番号 (非会員の場合はその旨を記載)
2. 氏名
3. 所属
4. 冊数
5. 送付先 ※会員は原則学会登録住所宛となりま
すので不要です。

③お支払い: 冊子に郵便振替用紙を同封しますので、到
着から 2 週間以内に郵便局よりお振り込み下さい。請求書
払等を希望される場合はその旨、お申し込み時にお知らせ
下さい。

④発送時期: 3 月上旬頃より順次発送予定です。大会の
事前送付をご希望の場合は、3 月 15 日までにお申し込み
下さい。

<https://www.pathology.or.jp/kankoubutu/1131.html>

2. 第 70 回秋期特別総会 (東京) ホームページ公開

第 70 回秋期特別総会 (東京) ホームページを公開いた
しました。

会期: 2024 年 11 月 7 日 (木)・8 日 (金)

会場: 日本教育会館・喜山倶楽部

会長: 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
人体病理学分野 大橋 健一

<https://gakkai.co.jp/jsp70/>

3. 2024 年度病理専門医試験・口腔病理専門医試験に ついて

2024 年度の病理専門医試験は、8 月 10 日 (土)、11 日 (日)
杏林大学にて実施いたします。

■受験申請期間

医科: 2024 年 4 月 1 日 (月) 13 時から

2024 年 5 月 1 日 (水) 13 時まで

(電子申請のみ)

口腔: 2024 年 4 月 1 日 (月) から

2024 年 4 月 30 日 (火) まで

(郵送のみの受付・消印有効)

■試験に関するお問い合わせ

日本病理学会事務局

E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

■試験要綱については下記よりご確認ください。

2024 年度 病理専門医試験申請要綱

<https://www.pathology.or.jp/senmoni/semi-shiken/2024.html>

2024 年度 口腔病理専門医試験申請要綱

<https://www.pathology.or.jp/senmoni/oral-senmoni-shiken/2024.html>

4. コンサルテーションシステムの統合について

2024 年 4 月 1 日から日本病理学会と国立がん研究セン
ターのコンサルテーションシステムが統合され、「日本病
理学会・国立がん研究センター病理診断コンサルテーシ
ョン」となります。

現在は、病理学会事務局まで依頼用紙をメールに添付の
うえお申込みいただいておりますが、4 月以降は国立がん
研究センターのがん診療支援システムよりお申込みいた
だくこととなり、手数料のご負担も不要となります。

詳細は下記 HP をご覧ください。

<https://www.pathology.or.jp/jigyuu/post-5.html>

5. 令和 5 年度日本病理学会 100 周年記念病理学研究新 人賞 公開 2 次審査の御案内

この度は日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞を
応募したところ、多数ご応募いただきありがとうございます。
資格ならびに応募内容の厳正な審査の結果、4 名が
2 次審査に選ばれました。2~3 名の選考のために下記の
日時に公開 2 次審査を行いますので、是非出席ください。

審査会

日時：2024年3月28日（木）13:10～15:10

場所：第113回日本病理学会総会 第4会場
（名古屋国際会議場4号館1階・白鳥ホール北）
（愛知県名古屋市）

<https://www.congre.co.jp/113jsp/>

候補者（発表順）：

塚本修一（神戸大学）

食道扁平上皮癌細胞とマクロファージの直接接触を介した相互作用の解析

岸野祐也（東京大学）

FUSプロテインパッチーにおける神経変性機構の解明

杉田佳祐（東京医科歯科大学）

間接的CRISPR screening法の確立と細胞間相互作用による薬剤耐性遺伝子の同定

加藤祐己（東京医科歯科大学）

表在型食道扁平上皮癌の浸潤の特徴—リンパ節転移のリスク因子に関する解析

以上、4名

関係HP：

<https://www.pathology.or.jp/jigyuu/100syuunen/rookie-award-20240125.html>

6. 第18回診断病理サマーフェスト

—病理と臨床の対話— 開催のお知らせ

本年の診断病理サマーフェストは下記の要領でハイブリッド開催（現地・オンデマンド配信）いたします。

現地会場参加は、先着順とさせていただきます。

Web開催は講演の模様を収録し、オンデマンド配信いたします。

テーマ：骨軟部腫瘍

会期：

現地開催 2024年8月31日（土）・9月1日（日）

※オンデマンド配信の視聴も可

Web開催 2024年9月9日（月）～10月4日（金）正午

※オンデマンド配信

会場：国立がん研究センター 研究棟 1F 大会議室

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

電話：03-3542-2511（代）

<https://www.ncc.go.jp/jp/about/access/tsukiji.html>

対象：骨軟部腫瘍に興味のある病理医、臨床医、放射線科医、臨床検査技師

形式：講義、質疑応答 / Web 視聴

内容：

8月31日（土）

骨軟部腫瘍病理の基礎的事項

骨軟部腫瘍の画像診断

骨腫瘍の病理

骨腫瘍の臨床

成人四肢・体幹壁軟部腫瘍の病理 I

成人四肢・体幹壁軟部腫瘍の病理 II

成人四肢・体幹壁軟部腫瘍の臨床

腹腔・後腹膜軟部腫瘍の病理

後腹膜軟部腫瘍の臨床

9月1日（日）

横紋筋肉腫と小児軟部腫瘍の病理

小円形細胞肉腫の病理

血管肉腫とその鑑別

末梢神経鞘腫瘍の病理

軟部肉腫の薬物療法—標準治療と新展開

小児骨軟部腫瘍の臨床と課題

骨軟部腫瘍の遺伝子パネル検査と症候群

定員：現地開催 先着 110名

Web開催（オンデマンド配信）制限なし

※冊子印刷の関係で、8月5日（月）までの登録をお勧めいたします。それ以降はハンドアウトの予定数に達し次第、受付終了とさせていただきます。

単位：病理領域講習（専門医更新）4単位

病理専門医受験資格「病理診断に関する講習会」に該当

※現地・Webともにすべての参加・視聴が必要

参加費：20,000円

（初期・後期研修医、大学院生、臨床検査技師 15,000円）

※会員・非会員ともに課税（税込10%）

一般社団法人日本病理学会インボイス番号：T1010005004655

参加受付期間：2024年6月5日（水）正午～9月27日

（金）正午

お申し込み方法等の詳細は以下HPよりご確認ください。

<https://www.pathology.or.jp/news/whats/summerfest-240118.html>

7. ハンガリー病理解剖トレーニングコース 募集開始について

近年、日本を含む世界各国で病理解剖数が減少傾向にあり、特に若手病理医が国内で十分な解剖経験を積むことが困難な状況にあります。一方、ハンガリーでは現在も多数の病理解剖が行われています。そこで日本病理学会では、ハンガリー最大の医科大学である Semmelweis 大学と提携

し、日本の病理医がハンガリーで短期集中的に病理解剖の経験を積むことができるトレーニングコースを創設しました。

このコースでは、指導教官の下、参加者自らが病理解剖を行い、臓器観察後臨床病理相関をつけ、報告書にまとめるまでの作業を行います。短期間にこれら業務を繰り返すことによって、所見の取り方、病態の理解、報告書作成能力の修得、向上が期待されます。また国際交流としても貴重な経験を得ることができます。

本コースは2014年に試行されたのち、2015年から2019年まで毎年夏に1回、計5回実施され、のべ22名が参加し充実した成果をあげることができました。2020年以降はコロナ禍のため中止しておりましたが、このたび再開する運びとなりました。第6回となる2024年度は以下の要領でコース参加者を募集します。奮ってご応募ください。

募集要項

1) 実施期間

- ①事前自習コース：～2024年6月28日（金）
- ②実地実習コース：2024年8月11日（日）午後6時～8月17日（土）正午
- （①と②の両方を受講いただきます）

2) 場所

Semmelweis 大学第二病理学教室（ハンガリー ブダペスト）

3) コース責任者

Kiss Andras（Semmelweis 大学第二病理学教室 教授）

4) コース内容

- ① 事前自習コース：配布資料を熟読し、病理解剖に必要な英語用語、英文解剖報告書作成要領を習得する。自験例1例を作成要領に沿って作成し、6月28日までに日本病理学会事務局へ提出する。

注) コース初日から病理解剖が行われるため英文での病理解剖レポート作成を事前学習しておく必要があります。配付資料（用語集、過去の校閲済み英文報告書例が含まれます）を参考に各自が過去に執刀した任意の病理解剖一症例につき、作成要領に沿って英文での病理解剖レポートを作成し提出して下さい。レポート提出以外の事前学習は各自に委ねます。

- ② 実地実習コース：Semmelweis 大学第二病理学教室のスタッフの指導の下で実際に病理解剖を行い、解剖報告書（英語）を作成する。月曜午前のオリエンテーション、病理解剖講義と説明（剖検手順、観察、レポート作成要領等）に引き続き、月曜午後から金曜午後までに合計10体の病理解剖を参加者自ら実施する。土曜日に修了証書が授与される。

5) 応募資格

日本病理学会会員で、病理解剖を集中して学びたい医師及び歯科医師。

病理専門医あるいは死体解剖資格の有無は問わないが、

日本での病理解剖の経験が10-15体程度あることが望ましい。

6) 費用

選考の結果参加が確定した者は、コース受講費用として一人50万円を5月20日までに日本病理学会へ支払うこと。

注1) なおこの金額には、現地への渡航費及び滞在費（30万円程度の見込み）は含まれていないことにご注意ください。コース受講費用、渡航費、滞在費は自己負担（可能であれば所属機関の負担）となります。

注2) キャンセルする場合はコース開始日から起算し10週間前（2024年6月2日）までに病理学会事務局へ連絡すること。

注3) 2024年7月30日を過ぎてコースへの参加をキャンセルする場合は、理由の如何によらず、コース受講費用の全額を払う必要がある。

7) 募集人数

4名

8) 応募期限

2024年3月15日（金）必着（4人に満たない場合は延長します）

9) 応募方法

申込用紙（別紙 <https://www.pathology.or.jp/2024.docx>）を病理学会ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入の上、日本病理学会事務局（jsp-admin@umin.ac.jp）までメールすること。

10) 選考

日本病理学会海外研修委員会で選考する。なお、応募者多数の場合は、病理専門医試験受験前の方を優先することがある。選考結果は2024年3月25日（月）までに申込者本人へ通知する。

11) 参加者の提出書類：

選考の結果、コースに参加することが確定した者は、別途連絡する期日までに下記書類をSemmelweis 大学第二病理学教室へ提出すること。

- (a) パスポート（顔写真のあるページ）の写し
- (b) 大学及び大学院（博士号を取得している場合）の卒業証明書（英文）
- (c) 医師（歯科医師）免許証（和文）の写し
- (d) 参加者が医師免許を有することを証明する文書（英文）（書式自由）
- (e) 参加者の予防接種歴の有無と抗体価の証明書（英文）（書式自由）

(d) 及び (e) には所属する部署の責任者（教授や部長等）のサインが必要である。なお、(c) の代わりに厚生労働省の発行する英文の医師または歯科医師の免許証を提出する場合は、(d) は不要である。(e) については参加者の所属する医療機関で診療にあたり必要とされている予防接種の項目（麻疹やHBV等）について記載すること。

12) 申込後のキャンセルについて

申込後、コースへの参加が困難になった場合は日本病理学会事務局へ速やかに連絡すること。但し選考を経て受講が正式に決定した後に参加を辞退する場合、他の参加予定者にも影響が出る場合があるので、選考終了後の参加辞退はできる限り避けること。2024年7月30日を過ぎてコースへの参加をキャンセルする場合は、理由の如何によらず、コース受講費用の全額を払う必要がある。

13) その他:

コース修了者には Semmelweis 大学より受講証が交付される。受講証の写しを病理専門医試験受験申請時に提出することで、病理専門医試験受験に必要な病理解剖経験数のうち4体に充てることができる。なお過去のハンガリー病理解剖トレーニングコース体験記は、病理学会ホームページの「会員専用情報」に掲載されている。

問い合わせ先

日本病理学会事務局

E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

関係 HP:

https://www.pathology.or.jp/news/application_guidelines_2024.pdf

8. 2024年度剖検講習会について

詳細は以下よりご確認ください。

https://www.pathology.or.jp/news/seminar_of_autopsy_diagnosis2024.pdf

9. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

重松	授	功労会員	(令和4年1月21日ご逝去)
青木	幹雄	功労会員	(令和5年7月13日ご逝去)
足達	敏博	功労会員	(令和5年8月8日ご逝去)
吉村	教皞	功労会員	(令和5年12月17日ご逝去)
小森	亮	功労会員	(令和6年1月20日ご逝去)
栢森	高	学術評議員	(令和6年1月20日ご逝去)
薬丸	一洋	功労会員	(令和6年2月5日ご逝去)
高橋	洋平	元学術評議員	(令和6年2月6日ご逝去)
戸田	隆義	元学術評議員	(令和6年2月14日ご逝去)